

釣り具製造企業の新商品開発などを 各種施策活用で伴走支援

課題

造形事業と釣り・アウトドア用品の 2本柱による事業展開

株式会社 TAPP は、平成 26 年に創業した釣り用具製造・販売企業。FRP による創作モデル、疑似餌の製造販売に加え、アウトドア用品全般の販売も手がけている。経営者は彫刻家の父親の影響を受け、大学では美術を専攻。同社の最大の強みも疑似餌のデザインの獨創性にある。たとえば、主力商品のホタルイカルアーの開発などだ。また、魚をさばくことに抵抗を感じている主婦層を対象に、容易に楽しく魚をさばける調理用ナイフも開発し、本格販売につなげている。

近年、アウトドアスポーツの多様化で主力のホタルイカルアーの売り上げが大幅に減少。その対応策として、もう一つの事業の柱だった造形部門（銅像の原型製作など）の拡大を図っていた矢先に、同部門の営業社員が退職し、営業力不足の状態に陥った。また、これまでも各種補助金を活用して、新製品の開発に取り組み、販売につなげてきたが、さらなる新商品が必要となっているほか、広告宣伝費などの運転資金の調達も課題だった。

支援

補助金を活用して 画期的な調理ナイフを開発

射水市商工会では同社に対し、富山県チャレンジファンド事業などの申請支援を行い、新型ルアーの試作販売に向けた事業展開をサポート。また同時に経営革新計画の策定支援も実施し、5年後の経営を見据え、現在の問題点を抽出した。

一方、アウトドア関連では魚専用包丁の企画開発を支援し、試作、モニタリングに協力した。こうして生まれた「サカナイフ」は平成 29 年富山ものづくり見本市に出品したが、展示ブースに長蛇の列ができ、その後も問い合わせが殺到した。現在、商工会ではこの製品の知的財産、特許申請に向けて、専門家派遣事業を進めている。

この「サカナイフ」はクラウドファンディングサイト（Makuake）に 2 回掲載したところ、1109 人から約 1300 万円の支援を集め話題のアイテムとなった。「世界初！日本の匠が創る、簡単に魚をさばけるようになる魔法の包丁」というキャッチコピーでインターネット販売を開始したときは、Yahoo ニュースに取り上げられ、商品は一気に注目を集めた。



簡単に魚をさばける魔法の包丁「サカナイフ」

伴走型小規模事業者支援推進事業での販路開拓支援、小規模事業者持続化補助金を 3 回、県のチャレンジファンド事業に 2 回、ものづくり補助金などの認定を受けたことで、大幅に新規顧客が増え、売り上げは前年比 12.4% の増加となった。また、造形部門の課題に対しては新たな販路が開拓され、資金繰りの改善が図られている。

今後の目標として、経営が安定するなかで台所用品、日用雑貨などの部門にも進出していきたいと計画しており、商工会では引き続き伴走型支援を行っていく。

支援の経過

期間	支援内容
H26年5月	ヒアリング開始、 持続化補助金の申請支援
H27年5月	持続化補助金の申請支援
H28年10月	とやま中小企業チャレンジファンド事業支援
11月	経営革新計画の認定
H29年11月	事業計画に基づいた販路拡大支援

会社概要

会社名：株式会社TAPP
 所在地：富山県射水市西高木1181-5
 電話番号：0766-53-5319
 URL：http://www.tapp-craft.com/
 代表者名：丸山達平
 創業年：平成26年
 年間売上高：2548万円（平成29年）
 従業員数：2名
 商工会名・担当者名：射水市商工会・篠田千春